



令和6年 二十歳の式

令和6年松浦市二十歳の式が
1月4日、文化会館で開催され
ました。

今年、市内の二十歳を迎えた
人は、男性117人、女性82人
の計199人。

式典では梶山 裕成さん（御
厨町）と田代 萌李さん（星鹿
町）が司会を務めました。

友田市長は、「私たちが享受
している便利な技術の多くは、
不自由さを解消するために生み
出されたものです。コロナ禍を
経験したことを強みに換え、次
の時代の担い手として、強い自
覚と意思をもって松浦を、そし
て日本を支えてくださることを
期待しています」と式辞を述べ
ました。

「二十歳の抱負」を代表者2
人が述べた後、前田 大輔さん
（福島町）が交通安全宣誓を行
い、最後に大石 海斗さん（志
佐町）が市長から記念品を受け
取りました。

各町の受付をしてくれた皆さん

記念品受け取り、宣誓を行った2人





二十歳の抱負



※一部を抜粋して掲載

水田 孝志さん (調川町)



私は大学に進学し、デザインの勉強をしています。
 デザイン業界はコミュニケーション能力が大事です。生活の中にある小さな縁もいつか大きな華を咲かせてくれるという前向きな思考を持ち、視野を広げ、感謝と尊敬の念を持ってこれから先の「明日」へと歩みを進めていきたいと思っています。

私は看護師を目指し、専門学校へ進学しています。
 看護学生として日々の学業に励み、目の前の一つひとつのことに向き合いながらたくさんの壁を乗り越え、立派な看護師になれるように励んで行きたいと思っています。

宮崎 菜央さん (今福町)

